

二 輸出入禁止制限撤廃会議

2 「第二回輸出入禁止制限撤廃ニ関スル国際会議報告書」

昭和三年九月

第二回輸出入禁止制限撤廃ニ関スル国際會議報告書

昭和三年七月於寿府

秘

条約局 第三課

目 次

第一節、総括報告

第一、本会議開催前ノ経過並其ノ議題

第二、我方ノ態度

第三、追加留保品目ノ審議

第四、批准ノ時期並実施ノ条件及時期

第五、会議ニ於ケル附随ノ問題

第二節、追加留保品目ノ審議

第三節、批准及実施ニ関スル規定ノ審議

第一、仏国案ノ提出ト各国ノ意見

第二、小委員会ノ審議

第三、起草委員会案ノ審議

第四節、獸皮獸骨ニ関スル協約ト本協約トノ関係

第五節、補足協定及附属議定書ノ確定調印

第一、協定起草委員会案ノ決定

第二、總會第一読会ニ於ケル補足協定案及附属議定書ノ審議

第三、總會第二読会ニ於ケル補足協定案及附属議定書ノ審議

第一節 総括報告

第一、本会議開催前ノ経過並其ノ議題

報告担当者 大使館二等書記官 堀内干城

一九二七年十月輸出入禁止制限撤廃第一回国際会議ニ於テ協約案ノ批准及実施ニ関スル規定ヲ審議スルニ当リ実施ノ条件タルヘキ批准国ノ数ニ付我方ハ本協約ノ実施ヲ容易ナラシムル趣旨ニテ複雑ナル条件ヲ避ケ単ニ一定数ノ国ノ批准ヲ条件トシタルニ対シ仏国、羅馬尼、波蘭等歐洲諸国ハ各国間ノ經濟的相互依頼ノ關係ニ重ヲ置キ經濟上密接ナル關係ニ在ル總テノ国ヲ列記シ其ノ批准ヲ条件トシテ協約ヲ実施スヘシト為シ而モ右実施ノ条件トスル關係国ノ範圍ハ国ニ依リ異リ容易ニ意見ノ一致ヲ見サリシカ之ト同時ニ審議ヲ行ヒタル協約第六條ニ定ムル經過の規定トシテ各国ニ対シ認ムヘキ禁制留保品目ノ範圍ニ付意見纏ラス會議決裂ノ虞アル形勢ニ立到リシニ鑑ミ本協約共同調印国ニ対シ同會議ニ於テ認ムヘキ留保品目ヲ協約第六條附屬表ニ規定スルト共ニ之ニ関シ最終的決定ヲ為サス右共同調印国及一九二八年二月一日前ニ調印スル国ニ対シ同日迄ニ追加留保ヲ提出スルノ權利ヲ与フルト共ニ之ニ対スル異議ノ申立ヲ認メ右追加留保並本協約批准ノ時期及実施ノ条件ヲ決定スルカ為第二回會議ヲ開クコトトシ之ニ関スル規定ヲ協約第十七條ニ設ケ之ニ依リ各国ノ意見ヲ調和シ漸ク會議ヲ纏メ得タリ而シテ右第十七條ノ規定ハ左ノ通ナルカ

(一)本協約ハ左ニ掲クル會議ニ於テ決定セラルヘキ条件及期日ニ從ヒ実施セラル

一九二八年六月十五日乃至七月十五日ノ間ニ於テ一九二八年六月十五日迄ニ本協約ノ調印ヲ了シタル国ノ代表者ノ會議ヲ開キ該會議ハ左ノ各項ヲ決定スヘシ

(イ)協約第六條第四項ニ依リ締結国ノ同意ヲ以テ批准ニ際シ認メラルヘキ禁制留保品目

(ロ) 本協約実施ノ条件特ニ本協約実施ノ為ニ必要トスヘキ批准国又ハ加盟国ノ数及必要アラハ其ノ国名
(ハ) 批准寄託ノ最終時期並前項ニ規定スル条件完了ノ場合ニ於ケル協約実施ノ時期

(ニ) 若シ右ノ時期ニ於テ本協約実施ノ条件タルヘキ全部ノ批准ヲ得サル場合ニハ聯盟事務総長ハ本協約批准国ニ協議シテ
本協約ヲ実施スルヤ否ヤヲ確ムヘシ

其後本年二月一日迄ニ本協約ニ調印シタル国ハ智利、「エストニア」合衆国、印度、「ラトヴィア」、諾威、波蘭、葡萄牙、
「セルブ、クロアット」、瑞典及土耳其ノ十一国ニシテ此等調印国中追加留保品目ヲ提出シタルモノ九国其ノ品目三十余
品ニ上リ之ニ対スル調印国ノ意見亦相当多数ニ上リタリ

第二回會議ハ右協約第十七条ノ規定ニ基キ前記批准期日及実施ノ条件並右追加留保品目ノ決定ヲ為スカ為一九二八年七
月三日ヨリ寿府ニ開催セラレタルカ之ニ代表ヲ派遣シタルモノハ共同調印国及追加調印国ノ中勃牙利ヲ除ク二十八国ニ
シテ右代表中前回會議ニ参加シタル国ノ代表ハ別ニ全權委任状ヲ要セス前回會議ニ対スル委任状ニテ十分ナリト認メラ
レタリ

第二、我方ノ態度

我方トシテハ(イ)留保品目ノ範圍ハ成ルヘク之ヲ縮少シ殊ニ資源ノ独占ヲ目的トスル留保ハ之ヲ認メス且本邦貿易關係品
ニ付テハ反対スルコトトシ(ロ)実施ノ条件ニ付テハ成ルヘク協約ノ実施ヲ速ナラシムルカ為特記国ノ批准ヲ実施ノ条件ト
スルヲ避クヘキモ万一特記スル場合ニハ日本ヲモ之ニ加ヘリ(ハ)批准寄託ノ時期ニ付テハ成ルヘク最終期限ヲ定メス之ヲ
定ムル場合ニハ我方手續ノ關係上成ルヘク之ヲ長期トシ且(ニ)協約ノ形式ニ付テハ昨年ノ協約第十七条ノ如キ經過規定ヲ
廃シ協約ノ体裁ヲ整ヘ一個ノ新協約トスルコトノ趣旨ノ左ノ如キ方針ニテ本會議ニ臨ミタリ

(一) 白国其他ノ留保要求ニ対シテハ本条約締結ノ趣旨ニ基キ成ルヘク之ヲ容認セサルヲ本旨トシ殊ニ資源ノ独占ヲ目的ト

スル留保ニハ努メテ反対スルコト只其國特別ノ事情ニ依リ万已ムヲ得サルモノトシテ多数國ノ承認ヲ得ルモノニ付テ
ハ大勢順応ノコト

尚(イ)葡萄牙國ノ粗製「コルク」ハ本邦ト相当重要ノ關係アルニ付反対ノコト

(ロ) 智恵古國ノ「マツチ」ニ付テハ其実狀不明ニシテ条約第四条第八号ニ該当スルヤ否ヤ判明セサルニ付意見ヲ留保
スルコト

(ニ) 第十七条第二項(ロ)ニ關シテハ条約ヲ出来得ル限り速ニ実施セシムルタメ本条件ヲ設クルコトニハ反対ナルモ已ムヲ得
サレハ大勢ニ順応シ尚國名ヲ列挙スル場合ハ他ノ大國ト共ニ日本ヲモ之ニ加フルコト

(三) 同項(ハ)ノ批准寄託ノ期限ヲ設クルコトモ特ニ批准國中ニ我國ヲ入レタル際コレヲ避クルコトトシ已ムヲ得サレハ我批
准手續ノ關係上成ルヘク之ヲ長期トスルコト而シテ実施ノ日ニ付テハ大勢ニ順応スルコト

(四) 条約第十七条ハ經過規定ナレハコレヲ其儘ニ存置スルハ条約ノ体裁上面白カラス且實施ノ上ニモ不便アレハ第十七条
第二項所定事項ノ決定ヲ俟チ条約ニ必要ナル訂正ヲ加ヘ更ニ之ニ調印スルノ形式ヲ採ルコト適當ナルヘキヲ以テ之ニ
付會議ノ注意ヲ喚起スルコト

第三、追加留保品目ノ審議

本會議ニ提出セラレタル追加留保品目ハ相当多数ニ上リタルモ總會第一回會議ノ劈頭議長ヨリ右各國ノ留保品目ハ(イ)一
九二七年十一月八日協約共同調印當日ニ於テ該國カ現ニ禁止制限ヲ實施セルモノナルコト(ロ)當該國カ協約第四条ノ範
圍ニ包含セラルルモノ又ハ其ノ理由ニ依リ撤回ヲ希望スルモノヲ除キ依然今回會議ニ附スルコトヲ希望スル
モノニ限り之カ審議ヲ行フコトヲ宣シ右ノ趣旨ニ依リ各國提出ノ留保品目ヲ淘汰シ前記(イ)及(ロ)ニ該当スルモノニ付總會
議ニ於テ提出國ヨリ留保理由ヲ説明セシメタル上之ニ対スル各國ノ意見ヲ陳述セシメ會議全体ノ承認ヲ得タルモノヲ採

用スルコトシタルカ右審議ニ当リテハ(i)協約第六條第一項ニ該当スルモノ即チ國際通商ニ相当ノ影響ヲ及ホスモ主トシテ各國特有ノ必要ニ基ク商品ニ付テハ第一回會議ニ於テ認メラレタル種類ニ止メ(ii)同上第二項即チ各國特別ノ必要ニ基キ且他國ノ貿易ヲ阻礙セサルモノニ付テハ右ノ事情ヲ確メタル上之ヲ認ムルコトトシ全体ニ於テ出来得ル限り留保品目ノ範圍ヲ狭クスヘシトノ空氣強ク留保ヲ提出シタル國モ大体会議ノ大勢ニ順應シテ過大ノ主張ヲ為サス結局追加留保ヲ承認セラレタル商品ハ協約第六條第一項ニ基クモノ屑鉄、屑亜鉛ノ外各國特産品タル五品種ニ限ラレ同第二項ニ基クモノ四品種之カ關係國八國ニ止マリ第一回會議ニ於テ認メラレタル留保品目ノ範圍ヲ維持シタルモノト言フヲ得ヘシ

第四、批准ノ時期並實施ノ条件及時期

批准寄託ヲ為スヘキ最終ノ時期ハ協約ノ實施ヲ成ルヘク速ニスヘシトノ趣旨ニ基キ前回會議ノ意向ノ如ク一九二九年九月三十日ト定メタルカ我方トシテモ此ノ期間内ニ於テ批准ニ必要ナル國內法上ノ手續ヲ行フニ支障ナシト認メ之ニ賛成セリ

協約實施ノ条件トシテ如何ナル國ノ批准又ハ加盟ヲ必要トスヘキヤニ付テハ前回會議ノ意向ヲ維持シテ締結國間ノ經濟的相互依賴關係ニ重キヲ置キ一定數ノ國ノ批准又ハ加盟ノミナラス主要關係國ヲ特記シ其ノ批准又ハ加盟ヲ以テ協約實施ノ条件トスヘシトノ意向ニ傾キタルカ特ニ右特記國中ニ合衆國ヲ加フヘキヤ否ヤニ付テハ一方同國ノ協約加入ハ經濟上ノ相互依賴關係上頗ル重要ナルカ他方同國內政上特別ノ事情ニ基キ其ノ協約ノ批准力遲延シ延テ協約ノ實施ヲ遷延セシムル危險アル事情ニ鑑ミ協約實施ノ為ニハ十八國ノ批准寄託又ハ加盟ヲ必要トシ同時ニ澳、智、古、仏、独、英、洪、伊、日、波蘭、羅馬尼「セルブ、クロアチ」瑞西、土及合衆國ヲ特記シ締結國ハ右特記國中ヨリ自國ノ關スル限り其ノ批准又ハ加盟ヲ以テ協約實施ノ条件トスル國ヲ指定スルノ權利ヲ有シ前記特記國中各締約國カ實施ノ条件トシテ指定シタルモノノ全部ヲ含ミ且全体ノ數ニ於テ十八國ニ達スル國ノ批准寄託又ハ加盟通告カ一九二九年九月三十日迄ニ完

了シタルトキハ協約ハ一九三〇年一月一日ヨリ實施セラレ右条件完了セサル場合ハ協約第十七條末項ニ依ルコトトシタリ尤モ前記ノ如ク合衆國ノ批准遲延シ一九二九年九月三十日迄ニ寄託ヲ了セサル場合ニ於テモ合衆國ノ批准ヲ以テ實施ノ条件トシタル國ヨリ同年十一月十五日迄ニ異議ノ申立ナキ限り合衆國ノ批准ナキニ拘ハラス協約ハ一月一日ヨリ實施セラレ異議ノ申立アルトキハ協約第十七條末項ニ依ルコトトシ之ニ依リ合衆國ノ批准遲延ノ為協約ノ實施遲延ヲ来スノ危險ヲ除去シタリ

第五、會議ニ於ケル附隨ノ問題

(i) 獸皮獸骨ニ關スル關係國間ノ特別協定ト本協約トノ關係

第一回會議ニ於テ東歐諸國ヨリ其ノ當時實施シ居タル獸皮獸骨ノ禁制制度ヲ維持スル為此等品目ノ留保ヲ要求シタルカ此等品物カ主要原料品ニシテ禁制撤廢協約ニ於テ之カ禁制ヲ認ムルハ主義上面白カラサレハ之ニ關シ關係國間ニ特別ノ協定ヲ遂クルコトノ了解ノ下ニ之カ留保ヲ撤回セシムルコトトシ爾來關係國間ニ協議ヲ重ネタル結果右關係國間ニ於テ獸皮及獸骨ノ現行禁制ヲ廃止且之ニ關スル關稅率ヲ制限スル特別協定成立シタルカ本協約ニ於テハ右特別協定ト本協約トノ間ニ右ノ如キ關係アルニ鑑ミ協約中ニ於テ獸皮獸骨ニ關スル特別協定カ實施セラレサル場合ニハ締約國ハ協約第六條ニ基キ提出ノ權利ヲ有シ而モ前記特別協定ノ趣旨ニ依リ提出セサリシ留保ヲ提出シ得ルコトトナリ此ノ留保ヲ審議決定スル為締約國間ノ會議ヲ開クヘキ旨ヲ定メタリ

(ii) 協約ノ解釈問題

前述追加留保品目ノ審議ニ際シ各國ハ其ノ留保品目カ協約第四條ノ適用上之ニ包含セラルヘキモノトシテ留保ヲ撤回スルニ當リ會議カ右ノ解釈ヲ承認スヘキ旨ヲ要求シタルモ各國代表ハ協約ノ解釈ヲ決定スヘキ權限ヲ有セストテ之ヲ拒絕シ右ノ如キ解釈ハ留保ヲ撤回スル國カ其ノ自國ノ責任ヲ以テ之ヲ為スヘキモノナリトセリ

又追加留保ノ有効期間ヲ定ムルニ当リ葡国代表ヨリ第二回會議ニ於テ認メラレタル追加留保ハ協約第六條第一項ニ基クモノト雖モ協約第十八條第四項ノ解釈ニ依リ五年間ニシテ之ニ對シ同條第三項ノ規定ヲ適用スルヲ得ストノ意見ヲ提出シタルカ之ニ對シ我方ヨリ第一回會議ニ於テ右第十八條ノ規定ヲ設クルニ際シ同條第三項ノ趣旨ハ追加留保ト雖モ第六條第一項ニ依ルモノハ第十八條第三項ヲ適用スヘキモノニシテ葡国代表ノ試ミタルカ如キ解釈ノ生セムコトヲ慮リ条文ノ意義ヲ明瞭ニスル為之カ字句ノ修正方ヲ提議シタルカ當時仏国代表ヨリ第二回會議ニ於テハ此ノ如キ疑問ヲ生スルカ如キ追加留保ヲ認ムルニ至ラサルヘシトテ會議ノ採用ヲ得サリシ事情ヲ指摘シタルニ（第一回會議々事録（C. 21. M. 12.1928 II）一三七頁参照）右ノ解釈ニ付テモ亦會議ノ關スル所ナラストセラレタリ而シテ此ノ点ニ關シテハ七月十日總會第十一回會議ニ於テ葡国代表ヨリ右葡国側意見ヲ宣言シタルモ議長ハ此ノ問題ハ會議ノ權限外ナレハ會議ハ単ニ右葡国側ノ意見ヲ記錄ニ留ムルニ過キスト述ヘタリ

（イ）我方米穀輸入制限ニ關スル印度代表及我方代表ノ陳述並「フィルム」制限ニ關スル米國及關係國代表ノ陳述

七月三日印度代表ハ本邦代表ニ内話シ本年三月日本政府ノ実施セル米穀輸入制限ニ依リ緬甸米ノ輸出ハ停止セラレ遲羅ニ比シ差別待遇ヲ受ケ居ル処右ハ現行日印間通商條約ノ不備ニ基クモノナルヘキモ本協約實施後ニ於テ右ノ如キ差別待遇カ存スルモノトセハ印度ハ本協約ヲ批准シ得サル旨ノ陳述ヲ本國政府ノ訓令ニ依リ本會議ニ於テ為スヘキ意向ナルコト尤モ印度トシテハ之カ為日本ニ許サレタル米穀ノ留保ノ再審議ヲ要求スル次第第二非ス單ニ會議ノ注意ヲ惹クカ為ニ過スト語リタルカ之ニ對シ我方ハ會議ノ誤解ヲ避クル為（一）本件制限ハ大正十年米穀法第二條ニ基クモノニシテ本年三月遽ニ決定シタルニ非サルコト（二）右米穀法立法ノ趣旨（三）今回ノ制限ヲ必要トスル國內ノ情況並條約關係國ヨリノ輸入及既存契約ヲ除外シタル事情（四）若シ緬甸米カ輸入ヲ許可セラレサリシトセハ右ハ日印間及日暹間ノ條約關係ノ相違ヨリ來ル已ムヲ得サル結果ニシテ何等印度ニ對シ差別待遇ヲ与ヘムトノ意向ニ基クモノニ非ス我方トシテハ兩國條約關係ノ改善ヲ希望スルコトノ趣旨ニテ陳述ヲ為スコトニ決シ之ヲ印度側ニ通シタルカ其後印度側ヨリ議長及我方

ト打合ノ結果右ハ本會議ノ議題外ナルヲ以テ之ニ關シ何等討議セサルコトトシ七月七日總會第九回會議ニ於テ印度代表及我方代表ヨリ夫々前記趣旨ノ陳述ヲ為シ（附録陳述書參照）議長ハ右ハ議題外ナレハ單ニ記錄ニ留ムルコトトスヘシト述ヘタリ

右ニ続キ米國代表ヨリ米國「フィルム」カ仏國內ニ於テ單ナル檢閲ノ目的ヲ超エ自國「フィルム」ニ對シ經濟的保護ヲ与フル目的ヲ以テ各種ノ制限ヲ受ケ居ルハ本協約ノ精神ニ反ス（輸入ノ自由ハ單ナル國境通過ノ自由ノ外、國內ニ於ケル流通ノ自由ヲモ含ムト為ス）トノ趣旨ヲ詳述シタルカ之ニ對シ仏國代表ハ國內ニ於ケル「フィルム」映写ノ制限ハ一國特有ノ文化歷史道德等ヲ保持スルカ為必要ニシテ經濟的保護ヲ目的トセス現ニ此種制限ハ各國ノ均シク採用スル所ナリト述ヘ独、伊、埃等之ト同様ノ意見ヲ述ヘタルカ議長ヨリ本問題ニ付テモ單ニ記錄ニ留ムルコトトシ會議ノ意見ヲ定メサルヘシト述ヘタリ

第二節 追加留保品目ノ審議

報告担当者 外交官補 門 脇 季 光

協約第六條第四項及同條ニ關スル議定書ノ規定ニ依レハ協約署名國ハ本年二月一日迄ニ第六條第一項又ハ第二項ニ依ル留保ヲ追加提出シ得ヘシ右規定ニ依リ同日迄ニ留保ヲ提出セルハ白耳義、勃牙利、波蘭、葡萄牙、瑞典、智恵古、米國、「エストニア」諾威ノ九ヶ國ナリ（C. I. A. P. 23）尚智利ハ前記期日後ニ其留保ヲ提出セルモ（C. I. A. P. 23. 2ème addendum）會議ニ於テ之カ審議ヲ承認セラレタルヲ以テ結局追加留保提出國ハ十ヶ國トナレリ

會議初ニ於テ議長ヨリ前記十ヶ國中其留保品目ノ或モノヲ撤回スル意思ヲ有スルモノモアルヘケレハ先ツ諸國カ其ノ飽迄固持セントスル留保品目ヲ確定シタル後會議ハ（一）右留保カ協約第六條ニ依リ審議セラルヘキ性質ノモノナリヤ否ヤ（例ヘ

ハ専売品ノ如キ第四条ノ規定ノ適用ヲ受クルモノニ関シテハ第六条ニ依リ審議ノ限ニアラス。(二)禁止制限ハ客年十一月八日ニ存在セシモノナリヤ否ヤヲ決シ(三)最後ニ留保ハ第六条第一項又ハ第二項ニ依リ承認セラレ得ルヤ否ヤヲ決スヘキ旨ヲ指示シ直ニ各国別ニ其留保品目ノ審査ニ入レリ

第一、白耳義―獣皮獸骨ノ輸出禁止ニ関シテハ關係国間ニ於テ協定成立スヘキヲ以テ其留保ヲ撤回ス

第二、勃牙利―勃牙利ハ遂ニ会議ニ出席セサリシモ會議ハ其留保品目丈ハ之ヲ審査スルコトヲ決セリ薔薇樹及其根並其苗ニ関シテハ世界通商ニ対シ大ナル障害ヲナスモノニアラサレハトテ之カ承認ニ決セルモ其ノ第二留保「国内品ノ偽造ニ用ヒラルル物品」トハ如何ナルモノヲ云フヤ意味曖昧ナルノミナラス協約第四条ノ範圍ニ入ルヘキモノトシテ本件ハ之ヲ除外セラル

第三、智利―硝石 (Nitrate de soude) ニ関スル智利ノ声明ハ単ニ条文ノ解釈ニ関スル其意見ノ発表タルニ止リ之ヲ決スルハ本會議ノ權限外ナリトノ意見アリタルニ対シ智利代表ハ已ニ昨年第一回會議ニ於テコノ種声明ヲ審議セルコトアリ即チ協約最終議定書ニ存スル仏、伊等七ヶ国代表ノ葡萄製造品ニ対スル声明ノ如シトテ之カ採用ヲ要請シタルモ客年第一回會議ト協約第十七条ノ規定ニ依リ招集セラレタル本會議トハ其ノ權限自ラ異ルヘシトテ遂ニ之カ審議ニ至ラス尚智利ノ留保品目中海鳥糞肥料 (guano) ハ国家ノ専売ニ属スルモノナルヲ以テ第四条ニ属シ第六条ニヨリ審議スヘキモノナラストシテ除外セラル

斯クテ會議ハ屑鉄、屑錫及牝馬ノ審査可能ヲ認メタルカ之カ承認ニ付テハ會議ハ屑鉄、屑錫ヲ第六条第二項ニヨリ承認スルコトニ反対シタルヲ以テ智利代表更ニ第一項ニヨル承認方ヲ求メ(或留保ニ付第六条第二項ニヨル承認方ヲ拒絶スルハ必スシモ之ヲ第一項ニヨリ承認スルコトヲ意味セス代表者ヨリ新ニ第一項ニヨル承認方ヲ求ムルヲ要ス)會議之ヲ承認セリ

牝馬ニ関シテハ何等ノ議論ナク第一項ニヨリ承認

第四、「エストニア」―已ニ第四条第六項ニ金銀ニ関スル例外ヲ認メ居ルヲ以テ白金等ニ対シテモ同様ノ待遇ヲ与フルコト可ナルヘク殊ニ「エストニア」ハ白金等ノ產出国ニモアラサレハ之カ輸出制限ハ世界通商ニ対シ大ナル障害ヲナスモノナラサル可キ旨且牛酪及卵ニツキテハ第四条第四項ニ入ルヘシトモ思考スルカ如何ト「エストニア」側ノ説明アリタルニ対シ一方會議ハ第四条ノ解釈ヲナシ其ノ及フヘキ範圍ヲ確定シテ或物品カ第四条ニ入ルヘキモノナリヤ否ヤヲ決スルコトヲ要ストナス者ト他方本會議ハ条文解釈ヲナスノ權限ナク単ニ事実ヲ認定スルニ止ル、コレニヨリテ或物品カ第六条ニヨリ審議可能ナリヤ否ヤヲ決スルノミ之カ第四条ニ入ルヤ否ヤハ提出国自ラ之ヲ決スヘキモノニシテ其決定ニシテ誤アリ為ニ他国ヨリ異議ノ申立アリタル時ハ協約ノ条項ニヨリ仲裁ノ道ヲ講スルノミトナス者アリ會議ハ結局後者ノ説ニ傾ケリ

會議ハ牛酪及卵ハ第六条ニヨリ審議シ得サルモノト決定シ白金、寶石、真珠、珊瑚ノ審議可能ヲ認メタルカ之カ承認如何ニ際シテハ何等ノ議論ナク第二項ニヨリ承認セラル

第五、米國―米國ノ「ヘリアム」瓦斯ハ已ニ第一回會議ニ於テモ承認セラレタル所ニシテ今回モ何等ノ議論ナク審議可能ヲ認メララルト共ニ第六条第二項ニ依リ承認セラル

第六、諾威―穀物、穀粉ニ関シテハ近ク專賣実行ノ運ニ至ルヘク從ツテ第四条第八項ニ該當スヘキヲ理由トシ之ニ関スル留保ヲ撤回ス船舶所有会社ノ株券ニ関シテハ第四条第六項ヲ指示シ會議モ本件ハ第六条ニヨル審議ノ範圍内ニアラストシテ之ヲ除外シ単ニ船舶及船舶ノ持分ノミノ審議可能ヲ認メタルニ後日ニ至リ諾威代表ヨリ諾威政府ハ本問題ハ現協約ノ範圍外ナリト思考スルヲ以テ其留保ヲ撤回スヘキ旨声明セルヲ以テ問題討議ニ至ラス

第七、波蘭―製造品及農產品ノ交易發展ニ資スルノ理由ニヨリ石油及染料ニ関スル兩留保ヲ撤回ス

第八、葡萄牙―國際通商ノ發展ニ資スルヲ理由トシテ輸入ニ対スル食用油以下ノ一切ノ留保及輸出ニ対スル留保中粗製「コルク」羊毛松樹脂ノ三品ヲ除キ其他ノ物品ニ対スル留保ヲ撤回セリ而シテ會議ハ右三品ノ審議可能ヲ認メ次テ之カ承認

ノ能否ヲ論議セリ

(一)粗製「コルク」——葡萄牙代表ヨリ粗製「コルク」トハ樹ヨリ剥キトリタルママノ何等ノ加工ヲモナザル純原料品ノ状態ニ在ルモノヲ意味シ板状其他ノ形状ニ在ルモノノ輸出ヲ禁止スルモノニアラス随テ之ヲ原料トスル洪牙利ノ木栓工業ノ如キ何等ノ利益ナル影響ヲ蒙ルモノニアラサル旨ヲ説明セルニ対シ伊藤代表ハ「コルク」ハ葡萄牙、西班牙ノ両国カ独産国ノ形アリコレカ留保ヲ許スコトハ原料品独占ヲ許スモノニシテ協約ノ趣旨ニ反スルヲ以テ主義上之ヲ許シ難ク又日葡間通商ハ「コルク」貿易ニヨリ年々向上シツツアリ之カ輸出禁止ヲ許ストキハ右ノ如キ國際通商ニ大ナル障害ヲ与フル結果トナルヘク事実上之ヲ許シ難シト述ヘ同様ニ洪牙利、独逸等二、三反対スル者アリタルカ英、仏、伊、瑞西等葡萄牙ヲ弁護シ白ノ提案ニヨリ粗製「コルク」(liège brut)ハ意味明瞭ナラサレバコレヲ「原料品」ノ状態ニアルコルク」(liège a l'état brut)ト変更スルコトトナリ斯クテ第六条第二項ニ依ル承認如何ハ投票ノ結果拒絶セラレ遂ニ第一項ニヨリテ承認セラル

(二)羊毛——葡萄牙ノ羊毛工業ハ初歩ニ在ルニ拘ラス原料品不足シ常ニ他国ヨリ輸入ヲ余儀ナクセラレツツアリ即チ葡国ハ羊毛ノ輸出国ニアラスシテ輸入国ナリ之カ輸出禁止ハ世界通商ニ悪影響ヲ及ホスモノナラスト説明アリ英、伊、瑞西等之ヲ認メタルモ和蘭ハ一國カ原料品ヲ充分生産セサルノ理由ニヨリ留保ヲ求ムルコトハ主義上極メテ危険ナリトテ反対シタルカ英國ノ求メニヨリ葡国ハ更ニ羊毛ノ種類 (catégorie) ヲ制限スルコトトシ之ヲ精製品 (laine fine) ト特定シ和蘭モ強ヒテ反対セス會議ハ之ヲ第六条第一項ニヨリ承認シ葡毛之ヲ以テ満足セリ

(三)松樹脂——別段ノ論議ナク第二項ニヨリ承認

第九、瑞典——屑鉄留保ハ已ニ数ヶ国ニ対シ承認セラレタル所ナレハ瑞典ニ対シテモ何等ノ反対ナク第一項ニヨリ承認セラル

第十、智恵古——獸皮獸骨ハ之ヲ本件關係ノ協約ノ規定ニ一任シ輸入ニ対スル留保中馬肥シ種子、甜菜種子、松柏門ノ種子、

森林植物ノ芽ハ第四条第四項ニ「マッチ」ハ同条八項ニ入ルヘキモノト思考シ更ニ輸出ニ対スル留保中生獲物(鳥獸)及馬肥シ種子ハ第四条第四項ニ「ホップ」ノ芽ハ同条第七項ニ入ルモノト思考スルヲ以テ之ヲ撤回スル旨同國代表ヨリ声明セリ

而シテ木材、甜菜及石英石ハ地方的利害關係ヲ有スルモノナレハ關係國間ノ協定ヲ以テ解決ノ道ヲ講スヘク之カ為小委員會ヲ任命センコトヲ求メ會議ハ右提案ヲ容レタルヲ以テ議長ハ独、墺、智恵古ノ三代表ヲ以テ右小委員會ヲ構成シ相互了解ノ成立ニ力ムヘキ旨提議シ會議ノ承認スル所トナレリ

斯クテ智恵古ノ固持セントスル留保ハ結局自働車、家畜、葡萄酒「サルチル」酸ノ四品トナレルカ智恵古ハ更ニ其ノ善意ヲ示タメ「サルチル」酸ノ留保ヲ撤廃シ他ノ三品ニ關スル留保モ三年内ニハ之ヲ全廃スルコトヲ誓フ旨ヲ述ヘタリ右ニ対シ伊、墺兩國ハ本會議カ前記ノ如キ留保ヲ承認スルニ於テハ自ラモ之ヲ提出スルコト余儀ナクセラル旨殊ニコノ点ニツキテハ智恵古ハ多数國ト二國間條約ヲ結ヒ居ル処留保承認ノ曉ハ右諸國ハ智恵古ト該條約更新ノ際極メテ困難ナル立場ニ至ルヘキ旨等ヲ述ヘテ極力反対シ丁抹、瑞西兩國モ家畜ノ留保ニ対シ強硬ナル反対ヲナセリ

斯クテ會議ハ一大障礙ニ際セシタルカノ觀アリシカ米國代表ハ智恵古ハ右三種ノ留保ハ基本協約調印ノ日即チ客年十一月八日ヨリ三年後ニハ之ヲ全廃スル旨ヲ誓ヒタル処該協約實施迄ニハ尚相当ノ時日ヲ要スヘク而シテ實施後尚六ヶ月間ハ禁制ヲ維持シ得ヘキヲ以テ単ニ三年間之ヲ維持スル為ニ例外ヲ求ムルコト事実上利益ハ無カルヘキ旨ヲ説明シテ智恵古ノ留保撤回ヲ希望セリ仏國代表モ右米ノ意見ニ賛シ會議ハ智恵古留保ノ討議ハ協約第十七條ノ實施條件審議ノ際迄之ヲ延期セリ

然ルニ其後ニ至リ甜菜、木材及石英石ニ關スル前記關係國小委員會ノ決定スル所ニ依レハ(一)智恵古ハ甜菜及木材ニ關スル留保ヲ放棄ス(二)石英石ニ關スル留保ハ之ヲ承認スルモ但シ從來智恵古國ト他諸國トノ二國間條約ニヨリ決定セラレタル本品ニ關スル輸出許可制度ハ本協約ノ繼續スル限り何等變更セラルルコトナク維持存続スルコトヲ條件トス(三)曩ニ智

惠古ハ「ホップノ芽」ハ第四条第七項ニ該当スルモノトシテ之カ留保ヲ撤回セルカ小委員会ハ果シテ右解釈カ正当ナリヤ否ヤヲ審議シタル結果寧ロ之ヲ第六条第一項ニヨル留保トシテ承認スルコト可ナルヘク但シ之ニ対シ智恵古ハ書面ヲ以テ「他国ニ於テ「ホップ」ニ関スル誤レル称呼カ許サレサルノ保障ヲ得レハ輸出ヲ自由ニスヘキ旨」ノ約束ヲナスコトヲ条件トス

右三点ノ決定ニ対シ會議ハ何等ノ討議モナサス之ヲ承認シタル処智恵古代表ハ直ニ會議カ前記小委員会ノ妥協案ヲ承認シタレハ前述米國代表ノ陳述シタル趣旨ヲモ考量シタル結果自働車、葡萄酒及家畜ニ関スル一切ノ留保ヲ撤回スル旨ヲ声明セリ斯クテ智恵古ニ認メラレタル留保ハ石英石（第六条第二項ニヨル）及「ホップノ芽」（同条第一項ニ依ル）ノ二点トナレリ

右ヲ以テ會議ハ各国留保品目ノ審議ヲ終了セルカ本會議中承認セラレタル留保品目左ノ如シ

(イ)協約第六条第一項ニヨルモノ

一、勃牙利—薔薇樹其根及苗

輸出禁止

二、智 利—屑鉄、錫屑及牝馬

同

三、葡萄牙—精製羊毛及原料品ノ状態ニ在ル「コルク」

同

四、瑞 典—屑鉄

同

五、智恵古—「ホップ」ノ芽

同

(ロ)協約第六条第二項ニヨルモノ

一、「エストニア」—白金、寶石、真珠、珊瑚

輸出禁止

二、米 国—「ヘリアム」瓦斯

同

三、葡萄牙—松樹脂

同

四、智恵古—石英石

同

第三節 批准及実施ニ関スル規定ノ審議

第一、仏國原案ノ提出ト各国ノ意見

報告担当者 大使館二等書記官 堀 内 干 城

七月五日午後三時總會第六回會議ニ於テ協約第十七条ニ定ムル批准寄託期間並實施ノ条件及期日ニ関スル規定ノ審議ヲ開始シ仏國代表ハ大要左ノ如キ原案ヲ提出シタリ (C.I.A.P. 31 参照)

(一)協約實施ノ為ニハ独、澳、智恵古、羅馬尼、波蘭、伊、仏、英、白、蘭、丁、諾、芬蘭、瑞西、葡ノ十五國ノ協約第十五条ニ依ル批准又ハ同第十六条ニ依ル加盟ヲ必要トス

(二)批准寄託又ハ加盟ハ一九二九年十月三十日迄ニ之ヲ為スヘシ

(三)一九二九年十月三十日迄ニ前記十五國カ批准寄託又ハ加盟ヲ了シタルトキハ協約ハ一九三〇年一月一日ヨリ實施ス

右ニ異ナルトキハ協約第十七条末項ニ依ルヘシ

仏國代表ハ右提案ノ理由トシテ(イ)十五國ノ特記國ノ批准又ハ加盟ヲ要件トシタルハ第一回會議ニ於テ表示セラレタル各國代表ノ意見ニ鑑ミ協約ノ實施ヲ出来得ル限り速ナラシメ且實施國ノ地理的分布及經濟上ノ相互依頼關係ヲ考慮スヘシトノ趣旨ニ基キ最少限度數ノ國名ヲ特記シタルモノニシテ(ロ)特記國ヨリ米國ヲ除外シタルハ同國ノ協約實施ハ必要ナルモ特別ノ事情ニ由リ其ノ協約批准力遲延スル場合ニ於テモ歐洲諸國ハ切迫セル經濟復興ノ為之ニ拘ラス速ニ協約ヲ實施スルノ要アルヲ慮リタルナリ(イ)又批准寄託期間ヲ一九二九年十月三十日迄トシタルハ調印後二年間ノ余裕ヲ存シ此ノ間ニ議會ノ批准ヲ得ル手續ヲ完了スルニ充分ナリト認メタルカ故ナリト述ヘ之ニ対シ各國代表ヨリ各種ノ修正意見ヲ提出

シタルカ其ノ要点左ノ通

(甲) 仏国案ニ依リ一定数ノ特記国ノミノ批准又ハ加盟ヲ条件トスルモ特記国ヲ増加スルモノ

独逸及瑞西代表ヨリ本協約カ単ナル欧洲問題ニ非サルコトヲ明ニスル為日米二国ヲ特記国ニ加フヘク特ニ日本ニ付テハ第一回會議ノ際其ノ留保品目承認ニ付多大ノ努力ヲ費シタルニ鑑ミ之カ除外ハ不可ナリト述ヘ智恵古(右ノ外「セルブ、クロアート」及洪国ヲ加フ)之二賛成シ仏国側ハ原案ヲ修正シ原案特記国ヨリ輸出禁制ニ付自由主義ヲ採用スルカ為其ノ必要ナキモノトシテ白、芬、蘭及丁ノ四国ヲ除キ日、米、洪及「セルブ、クロアート」ヲ加フルコトトセリ

(乙) 一定数ノ国ノ批准又ハ加盟ヲ要件トシテ其ノ内一定数ノ国名ヲ特記スルモノ

自国代表ヨリ仏国案ノ如ク一定数ノ特記国全部ノ批准又ハ加盟ヲ要件トスルハ余リ窮屈ニ過キ且特記ニ漏レタル国ノ自尊心モ考慮ニ入ルヲ要スヘク白国トシテハ特記国ヨリ除外セラルルモ異存ナシトテ本案ヲ提出シ印度及伊太利此ノ主義ニ賛成シ且前者ハ東洋諸国ハ本協約ノ実施ニ重要ナル關係アルヲ以テ日本ヲ特記国ニ入ルルコト適當ナリト述ヘ後者ハ特記国トシテ左ノ外更ニ土耳其、希臘及埃及ヲ加ヘタシト述フ

(丙) 一定数ノ国名ヲ特記シ各調印国ハ批准ノ際右特記国中ヨリ自国ノ実施ノ条件トシテ一定数ノ国名ヲ選択スルコト

奥国代表ハ初メ各国カ実施ノ条件トスヘキ国ノ範圍カ同一ナラサルヲ以テ各国代表ヨリ自国ノ条件トスル国名ヲ提出シ之ニ基キ委員會ニテ特記国ヲ決定スヘシト提議シタルカ各国代表ハ右ノ如キ選択權ヲ有セストノコトニテ後ニ本案ニ変更シタルモノニシテ丁抹之ヲ支持セリ

(丁) 既ニ調印シタル国全部ノ批准又ハ加盟ヲ要件トスルモノ

英国代表ヨリ特記主義ヲ採用スルトキハ特記セラレサル国ノ議會カ本協約ノ批准ヲ審議スルニ当リ反動的態度ニ出テ為ニ本協約実施ノ遅延ヲ来ス虞アリトノ理由ニテ本案ヲ提議シ全部ノ批准又ハ加盟ナキトキハ協約第十七条末項ニ依

リ批准国ノ會議ヲ開キテ決定セハ可ナリト述ヘ土耳其ハ調印国ノ平等ヲ理由トシテ之ニ賛成ス

(戊) 一定数ノ批准又ハ加盟ノミヲ要件トシ特記ヲ避クヘシトノ案蘭国代表ヨリ特記主義ニ依ル実施遅延ノ危険ヲ避クル為本案ヲ提起シタルモ右ハ經濟的相互依賴ノ關係ヲ無視スルモノトシテ之ニ賛成スルモノナリ

(己) 我方ノ態度

我方トシテハ前記方針ニ依リ本協約ノ成ルヘク速ニ実施セラレンコトヲ期スル為特記説ニ反対ナルモ其ノ各国間ノ經濟的相互依賴關係ヲ無視スル為到底會議ノ承認ヲ得サルヘキ形勢ニ鑑ミ右各国ノ意見表示ニ際シ電信協約ノ前例ニ倣ヒ欧洲諸国ノ条件トスル国ト非欧洲諸国ノ条件トスルモノトニ分チテ国名ヲ特記スルノ案ヲ披露シタルモ賛成ヲ得ス此ノ点ニ付テハ大勢ニ順応スルコトトセリ

右ノ結果議長ノ発案ニ依リ議長及仏、白、奥三国代表ヲ以テ小委員會ヲ作り折衷案ヲ考案スルコトトナレリ

第二、小委員會ノ審議

七月六日午前十一時總會第七回會議ニ於テ前記小委員會案ニ基キ審議ヲ行ヒタルカ右原案ノ要領左ノ通 (C. I. A. P. 31

(一) 参照)

(一) 協約実施ノ為ニハ二十国ノ批准又ハ加盟ヲ要ス

(二) 批准寄託又ハ加盟通告ハ一九二九年九月三十日迄ニ之ヲ為スヘシ

(三) 各締約国ハ其ノ批准寄託又ハ加盟通告ニ際シ左ニ特記スル国ノ一国又ハ数国ノ批准又ハ加盟ヲ以テ自国ノ關スル限リ協約実施ノ条件ト為スコトヲ得

独、奥、(米)、仏、英、洪、伊、日、波蘭、羅馬尼、「セルブクロアート」、瑞西、智恵古、土耳其

(四) 一九二九年九月三十日迄ニ前記条件カ成就スルトキハ協約ハ一九三〇年一月一日ヨリ実施セラル

然ラサルトキハ協約案第十七条末項ヲ適用スヘシ

仏国代表ハ右小委員会案ニ付(イ)特記国ニ付テハ敢テ其ノ禁制撤廃ニ対スル意図ヲ疑フカ為ニアラスシテ之カ加盟カ経済的相互依頼ノ關係上必要アリト認メタルコト(ロ)特記ヨリ除外サレタル国ハ寧ロ禁制ニ付自由ノ主義ヲ採用シ居リ之カ加盟ハ確實ナリト認メラルカ為ナルコト及(ハ)米國ヲ特記國中ニ加フヘキヤ否ヤニ付テハ其ノ加入カ極メテ重要ナルモ同國国内事情ノ為批准遅延シ為ニ協約実施ノ危険アルニ鑑ミ充分ノ考量ヲ要スルモノトシテ之ヲ括弧内ニ入レタレハ此ノ点ニ関シ充分審議ヲ重ネタシト述尚前記(イ)及(ロ)ノ二点ニ付テハ其ノ趣旨ヲ最終議定書ニ記載シタシト附言シタルカ右ニ對シ各國代表ヨリ左記要領ノ意見ヲ提出シ結局前記小委員会委員ニ英、独、伊、蘭四國代表ヲ加ヘタル本条項起草委員會ニ於テ更ニ折衷案ヲ起草スルコトナリタリ

(一)原案特記國中ヨリ選択スルノ主義ニ関シ英國代表ハ右ハ恰モ批准ノ条件ヲ各國議會ノ決定ニ委スルカ如ク對議會策上困難ヲ生スヘキカ故ニ寧ロ特記國全部ノ批准ヲ条件トスヘシト提議シ白國之ヲ支持シ伊國亦手続ヲ簡單ニスル趣旨ニテ二十國ヲ特記シ其ノ全部ノ批准ヲ条件トスヘシト述ヘタルニ對シ仏國ハ条件國指定ハ行政上ノ行為ニシテ議會ノ批准ト關係ナキモ英國側指摘ノ故障ヲ避クルカ為最終議定書ニ於テ「各締約國ハ議會ノ協賛ヲ得ルニ際シB項ノ嚴格ナル適用ヲ法律上ノ義務トセサル様」勸告スルコトトスヘシト提議シタルモ英國側ハ右ハ何等議會ヲ拘束セスト反駁シ議長ハ原案ノ主義ニ依ルモ必スシモ對議會ノ關係ニ於テ困難ヲ生スルコトナシト認ムル旨ヲ説明セリ右ノ外澳國代表ハ前回ノ提議ヲ繰リ返シ本會議ニ於テ各國ノ条件トスル國ヲ特定スヘシト述ヘ其ノ採用セラレサルヤ後十六國ヲ特記シ(後述ノ理由ニ因リ米ヲ除外ス)其ノ全部ノ批准ヲ条件トスヘキ旨ヲ提議シ和蘭代表亦特記セサル二十二國ノ批准ヲ条件トスヘシト述ヘタリ

(二)特記國中ニ米國ヲ加フヘキヤ否ヤニ関シテハ我方ノ外独、瑞西等ヨリ之カ特記方ヲ提議シ仏獨等ハ或國カ米國ノ批准ヲ条件トシ其ノ批准遅延ヲ利シテ故意ニ本協約ノ実施ヲ遷延セシムル危険アリトテ之カ除外ヲ主張シタリ

(三)其ノ他ノ点ニ関シ(イ)我方及英國側ノ注意ニ依リB項規定ノ特記國ノ批准ヲ条件トシ得ルハ九月三十日以前ノ批准寄託又ハ加盟ノ場合ニ限ルコトヲ明ニスル為之ニ適當ノ字句ノ修正ヲ行ヒ又(ロ)禁制ニ関シ自由ノ主義ヲ採用スル理由ニ付テハ白國側ノ注意ニ依リ「重要ナラサル禁止ヲ行フ國云々」ト修正セリ

(四)尚右討議中國際商業會議所代表ハ本協約ノ実施ニ関シ會議所トシテハ(イ)其ノ出来得ル限り速ニ実施セラルルコト(ロ)實施ノ効果カ広キ範圍ニ及フコト(ハ)其ノ形式ヲ成ルヘク簡單ニスヘキコトヲ希望スル旨ヲ述ヘタリ

第三、起草委員會案ノ審議

七月六日午後五時半總會第八回會議ニ於テ前記起草委員會案ノ審議ヲ行ヒ二三字句ノ修正ヲ經テ之ヲ採用セリ右原案及修正ノ要旨左ノ通 (C. I. A. P. 31 (2) 参照)

(甲)起草委員會原案要領

(一)本協約ノ實施ノ為ニハ少クトモ十八國ノ批准寄託又ハ加盟通告ヲ要ス

右十八國中ニハ獨、智惠古、仏、独、英、洪、伊、日、波蘭、羅馬尼、「セルブ、クロアート」瑞西、土耳其、米ヲ含ムヘシ

(二)一九二九年九月三十日迄ニ前記(一)及附屬議定書記載ノ条件カ完成スルトキハ協約ハ一九三〇年一月一日ヨリ實施セラルヘシ然ラサルトキハ協約第十七条末項ニ依ルヘシ

(三)最終議定書中ニ前記第二(イ)及(ロ)ノ二点ヲ記載スルコト

(四)合衆國ノ批准力遅延スル場合ニ於テモ之ニ關係ナク協約ヲ實施シ得ル旨ヲ明ニスル為附屬議定書中ニ左ノ規定ヲ設ク

一九二八年乃至一九二九年ノ間ニ於ケル議會ノ予想ニ関スル合衆國ノ特別ノ地位ニ鑑ミ締約國ハ一九二九年九月三十

日迄二本協約第() 条ニ依ル合衆国ノ批准ナキ場合ニ於テ同条ノ必要ト定ムル其ノ他ノ批准又ハ加盟カ右九

月三十日迄ニ完了シタルトキハ同日迄ニ批准又ハ加盟シタル国カ一九二九年十一月十五日迄ニ異議ヲ提起セサル
限リ本協約ハ一九三〇年一月一日ヨリ実施セラルヘシ

此ノ場合ニハ協約案第十七条末項ヲ適用スヘシ

(註) 本起草委員会案ニ批准ノ時期ニ関スル規定ナキハ脱漏セルカ為ナリ(後述第五章第二(三)参照)

議長ハ右起草委員会案ノ説明ニ際シ特ニ前記附属議定書ノ規定ニ関シ右ハ前回會議ニ於テ表示セラレタル各国代表ノ
意向即チ一方米國ノ加入ヲ重要視スル点ト他方合衆國ノ加入ニ依リ生スヘキ協約實施遲延ノ危険トヲ併セ考量シタル
結果ナリト述ヘタリ

(乙) 原案ニ対スル修正意見

(一) 合衆國代表ノ意見ニ依リ前記議定書ノ規定中「一九二八年乃至二九年ノ間ニ於ケル議會ノ予想ニ関スル合衆國ノ特
別ノ地位ニ鑑ミ」ヲ「一九二八年乃至二九年ノ間ニ於ケル議會ノ会期短少ニ因ル合衆國ノ地位ニ鑑ミ」(In view of
the situation in the United States resulting from the short session of the congress during the year 1928 to 1929
……)ト改ム

(二) 智恵古代表ノ注意ニ依リ右附属議定書末段「本日附ノ協約」ヲ「本協約」ト改ム

(三) 壘國代表ヨリ特記國ヲ協約中ニ記載スルトキハ議會カ一旦本協約ヲ批准シタル後協約第十七条末項ニ依リ特記國ノ
範圍ヲ變更スル場合ニ更ニ各国ハ議會ノ協賛ヲ要スルコトナリ不便ナレハ特記國ハ之ヲ附属議定書中ニ記載スヘ
シトノ修正案ヲ提議シタルモ瑞西代表ヨリ附属議定書モ通例議會ノ批准ヲ経ルモノナレハ同様ナリトテ反对セリ

第四節 獸皮獸骨ニ関スル協約ト本協約トノ關係

報告担当者 外交官補 門 脇 季 光

輸出入禁止制限撤廃ニ関スル条約及其ノ附属協定ト獸皮獸骨ニ関スル協約トノ關係如何ニツキテハ已ニ獸皮獸骨問題關係
國代表者會議ニ於テ討議セラレ代表者ノ殆ト全部ハ兩協約ノ獨立ヲ主張シタルニ單ニ波蘭代表ハ客年十一月八日ノ協約最
終議定書第三点ニ準拠シテ兩協約ノ結合ヲ主張セリ

七月六日ノ會議ニ於テ獸皮獸骨問題會議議長「セルイス」氏ヨリ獸皮獸骨問題關係諸國ハ之ニ関シ協定成立ヲ前提トシテ
其ノ留保品目中ニ前記二品ヲ加ヘサリシ事實ニ鑑ミ何等カノ理由ニヨリ獸皮獸骨協約ノ實施ニ至ラサル場合ヲ予定シテ兩
協約ノ間ニ或種ノ關係ヲ樹ツルコトヲ要スル旨ヲ述ヘ獸皮獸骨問題關係國代表者會議ニ於ケル本件ニ関スル討議ヲ略述シ
(一) 兩協約ハ之ヲ獨立ノモノタラシメ獸皮獸骨協定(特別協定)ハ客年十一月八日ノ一般協約實施前ニ實施スルコトトシ

特別協定カ實施条件ヲ具フルニ至ラサル際ハ事務總長之ヲ一般協約實施前ニ其ノ署名國ニ通知スヘシトスル說(一般
說)

(二) 特別協定ハ一般協約ノ附属ニ外ナラサルヲ以テ兩協定ハ之ヲ結合シテ同時ニ實施セラルヘキモノトスル說(波蘭說)
ノ二說ヲ指摘シ第一說ニ対スル非難ハ國家ハ特別協定ヲ署名スルコトニヨリテ一般協約ノ運命ヲ知ラスシテ獸皮獸骨問題
ニ関スル義務ヲ負フコトトナルヘシト云フニ在ルカ右ノ不便ハ極メテ些少ナルニ反シ第二說ニヨレハ一般協約ノ運命ヲ他協
約ノ實施ニ係ラシムルコトトナリ其ノ危険ハ極メテ大ナルヘキヲ述ヘ會議ハ右第一案ヲ採用センコトヲ求メタルカ波蘭代
表モ自說ヲ放棄シテ第一說ヲ容認シタルヲ以テ會議ハ異議ナク第一說ヲ承認シ一般協約中ニ

「會議ハ獸皮獸骨ニ関スル特別協定ノ批准セラルヘキ假定及希望ノ下ニ本協約ヲ締結セリ依テ特別協約實施ニ至ラサル場
合各国力獸皮獸骨ニ関シ提出セント欲スル留保ハ本一般協約實施前之ヲ審議スヘシ」

トノ意味ノ一項ヲ挿入スルコトナレリ之即チ追加協定第B条ノ挿入セラルルニ至レル所以ナリ

第五節 補足協定及附属議定書ノ確定調印

報告担当者 大使館二等書記官 堀内干城

第一、協定起草委員会案ノ決定

七月七日總會第九回會議ニ於テ選任セラレタル協定案起草委員会ハ議長及日、英、白、仏ノ四国代表ヨリ成リ同日午後三時ヨリ會議ヲ開キ從來總會ニ於テ採用セラレタル所ニ從ヒ左記要綱ノ補足協定案及附属議定書ヲ決定シタリ (C.I.A. P. 32 参照)

(一)

(甲)補足協定案

前文、補足協定カ一九二七年十一月八日調印ノ協約ト不可分ナルコトヲ定ム

A 条、協約第六条第一項ニ依ル留保品目

勃牙利、薔薇樹其ノ根及苗木 輸出

智利、屑鉄及屑亜鉛、牝馬 輸出

葡萄牙、「ファイン、ウール」原料状態ノ「コルク」 輸出

瑞典、屑鉄 輸出

智恵古、「ホップ」芽 輸出

同条第二項ニ依ルモノ

「エストニア」、「プラチナ」、寶石、真珠及珊瑚 輸出

合衆国、「ヘリウム」瓦斯 同

葡萄牙、松樹脂 同

智恵古、石英岩 同

B 条、本日調印ノ獣皮獣骨ノ通商自由ニ関スル協定カ実施セラレサル場合ニハ本補足協定ノ締約国ハ其ノ協約第六条ニ依リ提出ノ權利ヲ有シ且前記協定ヲ考量シテ提出セサリシ留保ヲ提出シ得ヘシ

締約国ハ右ノ留保ヲ審議スル為遲滞ナク會議ヲ開クヘシ

C 条、本協約実施ノ為ニハ少ナクとも十八国ノ批准又ハ加盟ヲ要シ右十八国中ニハ埃、智恵古、仏、独、英、洪、伊、日、波蘭、羅馬尼、「セルブ、クロアート」、瑞西、土耳其、合衆国ヲ包含スヘシ

尤モ各締約国ハ其ノ批准ノ時ニ於テ自国ノ関スル限り前項ニ特記セラレタル国ノ或モノヲ特定シ其ノ批准又ハ加盟ヲ以テ本協約実施ノ条件トスルコトヲ申出テ得ヘシ

D 条、C 条及附属議定書ニ定ムル条件カ一九二九年九月三十日迄ニ完了スルトキハ本協約ハ一九三〇年一月一日ヨリ実施セラルヘシ然ラサルトキハ協約第十七条末項ニ依ルヘシ

(乙)附属議定書

第一節 本協定中協約トハ一九二七年十一月八日ノ輸出入禁制撤廃ニ関スル協約及本日附ノ補足協定兩者ヲ總称ス

第二節 A 条ニ関シ

(a) 葡萄牙ノ為ニ例外ヲ認メタル原料状態ノ「コルク」ハ屑「コルク」又ハ塊状、削屑若ハ板状ノ「コルク」ヲ含マス

(b) A 条ニ定ムル留保ノ当該国カ補足協定ノ共同調印ノ日之ヲ調印スル条件ノ下ニ認メラレタルモ一九二七年十一月八日ノ協約ニ調印シ且本會議ニ代表者ヲ列席セシムルコト能ハサリシ国及協約第六条ニ依リ例外ヲ認メラレ

タルモ調印遅レタル為其ノ利益ヲ享受スルコト能ハサリシ国ニ対シテハ八月三十一日迄調印ノ期間ヲ延長ス
(c)「ホップ」ノ留保ヲ認メラルル条件トシテ智恵古国ハ右品物ノ原產地表記ニ関シ法規上又ハ行政上ノ保護ヲ与フル国ニ対シテ之カ自由輸出ヲ約ス

第三節 C条ニ関シ

(總會第八回會議ニ於テ採用シタルモノト同様)

C条第二項ニ関シ

(總會第七回會議採用最終議定書記載案ト同様)

(丙) 附屬宣言

智恵古ハ石英岩ノ留保ヲ認メラルル条件トシテ独、澳、洪ニ対シ既存ノ輸出割当ヲ保持ス

(二) 協定案起草委員會ニ於ケル修正ノ要旨

(イ) 新協定ノ形式

起草委員會ニ於テハ我方代表ヨリ協定案ノ形式ニ関シ之ヲ一九二七年十一月八日ノ協約ト別個ノ協定トセス寧右協約ヲ修正シ且其ノ内經過規定ヲ削除シテ新ニ一個ノ協定ヲ作成スルノ可ナルヲ主張シタルモ右ハ条文ノ体裁上可ナルモ之カ為ニハ前協約国全部ノ同意ヲ要シ本會議代表ノ權限外ニモアリ又新協約トシタル場合前條約第十八條廢棄規定ノ適用上前協約ト新協約トノ実施ノ時期ノ關係ニ付特別ノ規定ヲモ設クル必要アル等諸種ノ支障アリトテ容レラレス結局前協約ノ補足協定及附屬議定書ノ形式ト為シ之ヲ前協約ノ不可分の一部ト為スコトナレリ

(ロ) 修正要旨

起草委員會ニ於テハ大体從來總會決定ニ從ヒタルモ只C条実施ノ条件ニ関シ第八回總會決定ノ案ハ実施ノ為ニハ特記セラレタル十四國ヲ含ム十八國ノ批准又ハ加盟ヲ要スト為シタルモ起草委員會ニ於テハ右總會案ニ依レハ合衆國

ノ批准遅延ノ場合ニ於テ九月三十日以後十一月十五日ニ近ツクニ非サレハ如何ナル國カ合衆國ヲ条件ヨリ除外スルニ反対ナルヤヲ知り難ク此ノ如キハ第十七條末項ニ依ル會議再開準備ノ為頗ル不便ナレハC条第二項トシテ批准ニ際シ前項特記國中如何ナル國ノ批准又ハ加盟ヲ實施ノ条件トスルカヲ通告セシメ之ニ依リ如何ナル國カ合衆國ノ批准ヲ条件トスルヤヲ予メ知り得ルコトトシタルカ尚之ニ依リ一國カ合衆國ヲ条件トシテ故意ニ協約實施ノ遅延ヲ策スルカ如キコトヲ防止セムトノ底意アルヤニモ認メラル

第二、總會第一読會ニ於ケル補足協定案及附屬議定書ノ審議

七月九日午後三時ヨリ總會第十回會議ヲ開キ前記起草委員會案ニ対シ第一読會ノ遂條審議ヲ行ヒタルカ左記要領ノ修正ヲ加ヘテ一応之ヲ採用セリ

(一) 劈頭我方代表ヨリ協約案ノ形式ニ関シ前記起草委員會ニ於ケル我方ノ主張ヲ披露シ尤モ我方トシテハ會議一般ノ意向ニ鑑ミ起草委員會案ノ形式ニ異存ナシト述ヘ之ニ対シ白代表ハ起草委員會ヲ代表シテ我方形式ニ依ル場合ノ支障ヲ指摘セリ

(二) 議長ヨリA条留保品目中牝馬ヲ葡萄牙ノ留保トシタルハ誤記ナリトテ智利ノ項ニ移ス

(三) 白國代表ノ注意ニ依リC条ニ批准寄託期間ノ規定ナキハ脱漏セル為ナリトテ同條第二項トシテ「批准寄託ハ一九二九年九月三十日迄ニ之ヲ為スヘシ」ノ一項ヲ挿入スルコトトス

(四) D条第二項仏文 *Sinon* ヲ *dans le cas contraire* ニ改ム

(五) 附屬議定書第一節仏文 *partout* ヲ削除ス

(六) 附屬議定書第二節bハ勃牙利及合衆國ニ対シ本補足協定調印ノ期間ヲ一九二八年八月三十一日迄延期スル趣旨ナリシモ葡國代表ヨリ同國カ獸皮獸骨協定ニ関スル會議ニ参加セサルコトヲ理由トシテ同様ノ期間延長ヲ要求シ討議ノ結果

其ノ要求ヲ容レ「合衆国、勃牙利及葡萄牙ニ対シ同様期間延長ヲ認ムル旨」ヲ規定スルコトナル

(e)同上(c)智恵古ニ対シ「ホツプ」芽ノ留保ヲ承認スル条件ニ関シ原案「法規上又ハ行政上ノ保護ヲ与フル国」云々トアルヲ「法規上又ハ契約上ノ保護ヲ現ニ与ヘス又ハ将来与フルコトアルヘキ国」云々ト改ム

(f)附属議定書第三節トシテB条ニ関シ獸骨協定実施ノ場合製膠用獸皮ニ付テノミ同協定ノ規定ヲ伊太利ノ為ニ適用スルコトヲ認ムル旨ヲ定ム

(九)補足協定案C条ニ関スル修正案

C条起草委員会案ニ於テハ一方同条第一項ニ依リ特記国全部ノ批准又ハ加盟ハ協定実施ノ条件トナリ居ル他方多数ノ国カ同条第三項及附属議定書第三節ニ依リ特記国中ヨリ例ヘハ合衆国ノ如キヲ除外シテ之カ批准遅延ニ拘ラス協定ヲ実施セムトスル場合ニ於テ無条件ニ批准ヲ寄託シ第三項ニ依リ之カ除外ヲ申出テサル国ハ再批准ヲ要スルコトナリ手続上ノ支障アルヲ以テ英国代表ヨリ之カ代案トシテ(i)第一項二十八国ノ批准ヲ要スル旨ヲ定メ(第二項ハ其ノ儘トシ)(ii)第三項ニ於テ締約国ハ批准寄託ニ際シ前記特記国ノ一部又ハ全部ノ批准又ハ加盟ヲ以テ実施ノ条件トスルコトヲ通知シ得ルコトトスヘシトノ提案ヲ為シ伊、瑞西、智恵古ハ右ノ如キ修正ハ原案ノ精神タル相互依頼關係ニ重ヲ置キ合衆国ハ別トシ少クトモ爾余ノ特記国ノ批准ヲ条件トスル重要ナル原則ヲ覆スモノナレハ之ヲ認メ難ク原案ニ依ル再批准ノ不便ハ国内問題ニ過キサレハ寧ろ条件国ノ範圍變更ノ自由ニ付各自議會ノ了解ヲ得レハ可ナリトテ原案ヲ主張シ白、丁、等代案ニ賛成シ和蘭ハ同国最初ノ提案ヲ折衷シテ十八国及各国ノ指定スル国ノ批准ヲ条件トスヘシト提議シタルカ右ハ実施ヲ極メテ困難ナラシムルモノトシテ否決セラレ結局起草委員会案及第二案ヲ更ニ攻究シタル上明日ノ第二議會ニテ決定スルコトトセリ

第三、總會第二議會ニ於ケル補足協定案及附属議定書ノ確定

七月十日午前十一時ヨリ起草委員会ヲ開キ前回第一議會採用案ニ対シ字句ノ修正ヲ加ヘタル原案ヲ作成シ(C. I. A. P. 33. épreuve 参照)之ニ基キ同午後三時ヨリ總會第十一回會議第二議會ニ於テ大要左ノ通修正ヲ加ヘタル上補足協定同附属議定書及附属宣言案ヲ確定セリ

(一)補足協定案C条ニ関スル第一案及第二案ニ付テハ第二案第三項ノ字句ヲ「締約国ハ批准寄託又ハ加盟通告ニ際シ自國ノ関スル限り或ル國ノ批准又ハ加盟ヲ以テ協約実施ノ条件トスルコトヲ通告スルノ權利ヲ有ス尤モ此ノ場合ニ於テハ左ニ特記スル以外ノ國ヲ特定スルヲ得ス」ト修正シ之ニ依リ特記國以外ノ國ヲ指定シ得サルコトトシ之ト第一案トニ付決選投票ヲ行ヒタル結果二十二対五ニテ第二案採用セラレ第一案ヲ主張シタル伊、瑞西、智恵古、「セルブ、クロアト」及土耳其モ第二案ニ賛成スル旨ヲ述ヘタリ

(二)附属議定書第四節ハ補足協約案C条ノ結果大要左ノ通修正セリ

合衆國批准カC条第三項ニ依リ要求セラレ且一九二九年九月三十日迄ニ寄託セラレサル場合ニ於テ同日迄ニ協約実施ノ条件タル其他ノ國ヲ含ム十七國ノ批准寄託又ハ加盟通告アリ且其ノ中合衆國ノ批准ヲ協約實施ノ条件トシテ批准寄託又ハ加盟通告ヲ為シタルモノヨリ同年十一月十五日迄ニ反対ナキトキハ協約ハ一九三〇年一月一日ヨリ實施セラルヘシ若シ反対アルトキハ協約第十七条末項ヲ適用スヘシ

第四、補足協定ノ調印

七月十一日午前十一時補足協定ノ共同調印ヲ行ヒ我方及独、奥、白、英、智利、丁、埃及、「エストニア」、芬蘭、仏、洪牙利、印度、伊、「ラトヴィア」、蘆森堡、諾威、蘭、波蘭、葡、羅馬尼、「セルブ、クロアト」、暹羅、瑞典、瑞西、智恵古、土耳其ノ二十七國之ニ調印シタリ尤モ右ノ内諾威代表ハ病氣ノ為直ニ調印シ難キモ權限ヲ有スルヲ以テ共同調印ニ參加シタルモノト認メラレタリ